

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月12日

計画の名称	街路整備による緊急対策が必要な通学路の安全性の確保(防災・安全)												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福岡県												
計画の目標	市街地における自動車交通の集中により、歩行者、自転車交通の交通事故対策が喫緊の課題であり、街路整備により通学路安全プログラムにおいて対策箇所となっている通学路の安全対策を早急に推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	10,708	A	10,708	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	要素事業において、通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率を向上(H34末)する。 要素事業において、通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率を算定する 通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率(%) = (通学路の安全が確保された箇所数) / (要素事業の対策箇所数) × 100	0%	0%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	中央団地川宮線外1線	改築 0.84km	田川市						1,462	-		
	A01-002	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	行橋停車場線	改築 0.55km	行橋市						2,413	-		
	A01-003	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	久留米駅南町線	改築 0.95km	久留米市						3,658	-		
	A01-004	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	芦屋水巻中間線(頃末工区)	改築 0.44km	水巻町						3,175	-		
												小計						10,708		
												合計							10,708	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
各事業主体が定量的指標ごとに行う目標達成度調査を基に福岡県が実施する。	計画期間（H30年度～R4年度）の翌年度
	公表の方法
	計画作成主体のホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	関係機関との調整等により事業期間が延伸され、当計画期間内（H30年度～R4年度）に整備完了できなかったため、効果発現なし。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
次期計画（R5年度～R9年度）においては、要素事業の4路線の整備を完了させ、通学路の安全対策を早急を実施する。	

